

長い夏休みが終わりました。今年もとても暑い毎日でしたね。みなさん、お元気でお過ごしでしたでしょうか？

預かり保育「なないろ」に参加する子どもがいたり、26日からの夏期保育にも大勢の子どもたちが参加していたので元気な顔は見ていましたが、やはりホールで全園児が集まって行う始業式は、特別なものがあります。7月にお引越しの為に退園した子の顔がないのはさみしいですが、新しい友だちを迎えて今日からスタートする毎日を、子どもたちの幸せを願いながら心穏やかに重ねていきたいと思います。

各クラス担任は夏休みを利用して、研究会に参加したり本を読んだりしながら、教師としてのこれまでの自分を振り返り、またこれからの保育のあり方を考えました。一日一日成長する子どもたちに負けないよう、一日一日を大切に過ごしていこうと心しています。どうぞ今日からも、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

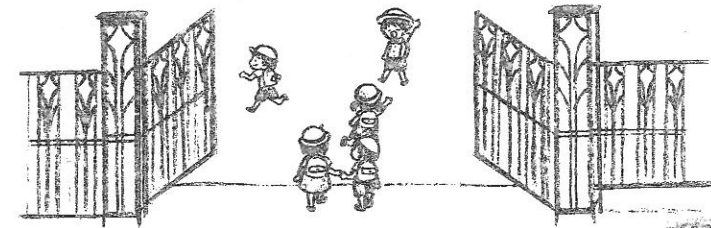
夏休みの間に、正門を新しいものに変えました。トイレもすべて改装しました。新しくなった正門を見て、前を通る関大一中の男子生徒が「わっ！関大幼稚園、ベルサイユ宮殿みたいや。」と言っているのを耳にして、思わず笑ってしまいました。子どもたちは、「かわってるう〜」「すごいかわったなあ」という言葉で気持ちを表現していましたが、保護者の方々はいろんな印象や感想をお持ちでしょうね。私は、長年たくさん子どもたちを守り、関大幼稚園の歴史を築いてきた正門が様変わりした姿を見た時、正直言って少し“さみしさ”を感じました。以前の門には重さや開け閉めに不便を感じながらも、一万回以上触れてきましたので……。けれど今回のことで改めて感じたことがあります。それは、関大幼稚園の門に限らず周りのものが変わることはよくあることです

が、新しくなったり便利になったりすることへの喜びと共に、以前のものに対する想いや愛着の感情も忘れないで大切にしたいということです。例えば、子どもの洋服や靴が小さくなって、大きなものに変えるとき等も同じように、『今までありがとう。』『これからよろしくね。』という気持ちを子どもたちに伝えていきたいと思いました。

正門に向かって右手のスペースは、2、3台の自転車が置けるように考えたものです。急な発熱によるお迎え等緊急時の自転車置き場としてご利用ください。

子どもたちにとっては、トイレの改装が身近なものだけに印象が強かったようでした。「ピッカピカや！」「かわいい！！」「下がツルツルやった。(タイル張りではないので)」等と担任に伝えたそうです。そして“なないろ”に参加していた子が、「うわあ〜！こっちはピンクや！（ひよこ・うさぎぐみのトイレは壁・床・扉が緑色だったので）」「うれしい！（自分たちのトイレも変わっていたので）」とピョンピョン飛びはねるようにして喜んでいた子がいたとも聞きました。友だちと飛びはねて喜ぶ子ども心を、私は素直に受け止め、心から「改装してよかったあ。」と思えた瞬間でした。

さあ、今日から、新しい正門とトイレと共に関大幼稚園の歴史を、子どもたちと保護者の方々と教職員、みんなで築いていきましょう！



研究保育に伴う通園・保育時間変更のお願い

予定表でお知らせしていますように、9月8日（木）に研究保育（ひよこぐみ・はなぐみ）を行ないます。クラスによって登園時間が変わりますので、ご協力よろしくお願ひ致します。

登園について・・・ひよこぐみ・はなぐみは、平常通りの通園で教師が迎えにいきます。

うさぎぐみ・りすぐみ・そらぐみ・ほしぐみ・ゆきぐみは10時に各自で園まで送ってきてください。

*10時まで研究保育を行っています。早く来過ぎないようにお願いします。

降園について・・・平常通り教師が送っていきます。